

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0773100516		
法人名	医療法人大久保クリニック		
事業所名	グループホームおおくぼ		
所在地	福島県田村市船引町船引字扇田232-1		
自己評価作成日	平成23年8月	評価結果市町村受理日	平成22年11月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do">http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人福祉ネットワーク
所在地	いわき市錦町大島2番地
訪問調査日	平成23年11月24日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>本当の家族という時と同じ安らぎを感じてもらえるような雰囲気づくり。残っている力を奪い取らない援助。</p>
--

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>1.利用者地域住民との交流、ボランティアの受け入れなど、積極的な活動をしている。 2.事業所は医療と併設していることから、介護だけでなく医療と連携をとり一人ひとりの状況に合わせて支援している。 3.管理者は、ケアサービスが向上できるよう気づいたことを積極的に話し合い、運営に反映させている。</p>
--

## . サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりが広がったり深まり、事業所 の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごさせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>事業所理念を、棟内数カ所に掲示しており職員が確認してケアサービスにつなげている。</p>	<p>管理者と職員は地域密着型サービスの意義を理解し、利用者、地域の方と花植えや料理するなどして交流を図り、事業所理念を共有し実践している。</p>	
2	(2)	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している</p>	<p>地域の組長さん、区長さん、民生委員さんと交流することができた。</p>	<p>日頃から事業所の情報、お便り等で利用者の状況を知ってもらい、助言、地域情報をいただき、交流している。</p> <p>安心してホームを運営することが出来ている。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>できていない</p>		
4	(3)	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議で新管理者改めて職員の紹介をした。会議メンバーさんも変わり事業所の取り組み内容の報告、震災時、その後の報告なども行い田村市議会議員様も加わり被災者受け入れ時の報告含み新体制を整える。</p>	<p>運営推進会議は、活動報告、地域の方の意見を取り入れ、活発に話し合いが行われている。</p> <p>震災時は、地域の方と連携がとれ、迅速に避難できた。</p>	
5	(4)	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>入居前の困難事項について相談、解決しスムーズな入居につなげている。スプリングクラー工事終了まで相談指導いただいた。</p>	<p>役所が近く、日常的に連絡を取り合っている。</p> <p>震災時は市の手配で日用品、食料品などをスムーズに調達することができた。</p> <p>スプリングクラー設置時は、相談、指導をしていただき、消火設備を整える事が出来た。</p>	
6	(5)	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>グループホームおおくぼ身体拘束マニュアルがあり、禁止となる具体的な行為について職員全員で確認し身体拘束廃止にむけている。</p>	<p>身体拘束マニュアルを理解し、カテーテル使用の方にはその身体状態に応じ、家族の要望でミトンやベルトを使用することもある。</p> <p>褥瘡の方にはエアーマットを使用し、職員・ドクター・ナースのあきらめない気持ちが身体拘束をせずに回復させる事が出来ている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修会に出席し虐待防止につとめている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>入居者の方で必要と認められた場合は、関係者と話し合い活用していく。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居契約時に説明して納得していただいている。</p>		
10	(6)	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会にみえたご家族が職員に気兼ねなく意見が言える雰囲気づくりを心がけている。意見が聞かれた場合には速やかに対応している。</p>	<p>家族の方とケアについて双方の意見を話し合うことができ、対応している。 遠方の家族の方にも、毎月おおくぼだよりやイベントの速報を送り、家族の意見をもらい運営に反映させている。</p>	
11	(7)	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>スタッフ会議での意見、提案を反映させている。</p>	<p>スタッフ会議では、ケアサービスの向上を目指し、意見を出し合い検討し、レベルアップに繋がられるよう努めている。</p>	<p>内・外部の研修に参加し、サービス向上について認識を高められるよう期待したい。</p>
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>研修会に積極的に出席、向上心を持って働ける職場環境ができています。</p>		
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の勤務表も研修会に出やすいように作成している。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会、交流会に出席して情報交換している。</p>		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	見学、入居時、ケアプラン作成時に本人の希望を聞いて安心して生活できるよう努め日々のサービスに生かしている。			
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	入居前に家族と十分話し合っている。			
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	家族の要望も含めケアプラン作成している。			
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	家族と思い日々のケアをしている。出来ることはやっ ていただくようにしている。			
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	お盆の帰省、お墓参りなどご家族と過ごされる機会がある。			
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	希望があれば職員と買い物に外出。	地域に暮らす馴染みの方、家族の方と花見、花火大会などに参加し、これまでの人間関係を大切にできるように支援している。 知人、友人が面会に見えた時は、共有空間で自由に話せるよう、居心地の良い場所を工夫し支援している。		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	入居者様の相性を考慮し席を誘導したり、入居者同士が自然に助け合っている。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	できていない。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	日常的に一人一人の思いを引き出す関わりを持っている。	会話の中から、要望や思いをくみ取っている。思いをうまく伝えられない方には、落ち着ける時間に個別に話しかけ、家族の方からも情報を得て、本人の意向をくみ取り支援している。	
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	入居前に情報を取得、居室の環境変化の緩和に努めている。		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	毎日の日誌、スタッフ申し送りで状態を把握している。		
26	(10)	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	毎日の申し送り等での情報を基に職員全員で検討しケアプランを作成し、再度家族に確認していただいている。	施設長、管理者、家族、職員で話し合い、家族の意向を反映させて介護計画を作成している。利用者の身体状態に応じて、期間中でも現状に即した検討、見直しをしている。	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	日々、きずいた時管理者、スタッフと話し合い、申し送り帳に記入して必要に応じてケアプランに導入している。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	ケアプランの変更は随時行っている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>入居前の生活環境を入居時、日々の談話の中から収集し、なるべく好まれることを断続できるよう支援している。</p>			
30	(11)	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に家族の思いを尊重したかかりつけ医を確認している。</p>	<p>本人・家族が希望するかかりつけ医を継続し受診でき、職員が送迎している。 併設されているクリニックから毎月1回往診もあり、適切な医療を受けられ、緊急時の受診体制もできている。</p>		
31		<p>看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>状態に変化があった時は、速やかに報告している。定期的に訪問看護をうけている。</p>			
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した場合の情報提供を行い、スタッフも面会に行き、安心できる関係づくりに努めている。</p>			
33	(12)	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期の方針について、作成している。状況変化があった場合は随時確認を取りながら進めている。</p>	<p>重度化や、終末期については、身体状態の変化時に家族と話し合い、状況に応じて終末期の方針についての同意書を作成し、確認している。医療が併設されているので、家族の方は安心して</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変、事故発生時のマニュアルをいつも見れる場所に貼ってある。消防署主催の救急救命講習会を受講している。</p>			
35	(13)	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>スプリンクラー設置完了。新防火管理者選任済み避難訓練を実施をする。本年度は一回しか実施しておらず二回目避難訓練も予定している。</p>	<p>震災後、自宅から事業所までの避難経路、所要時間の確認を行っている。 地震時は、居室に避難することが安心である。と消防署のアドバイスがあり実行している。</p>		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常的に一人一人の人格を尊重した言葉使いに気を付け接している。スタッフ同士が注意している。	一人ひとりの過ごしてきた環境や、生活歴を大切にし、誇りやプライバシーを損ねないよう言葉掛け、対応に気を配っている。 なあなあにならないよう、スタッフ同士が注意し合っており、支援している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	談話の中から、希望を引出し本人の思いを確認して進めている。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の大きな流れの中で進めてはいるが、個人の希望が聞かれた場合は変更して対応している。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人一人の好みを考えて、身だしなみの支援をしている。			
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	何が食べたいかを聞き、その日のメニューに反映している。	誕生日には好みの物を一品付けボランティア、民生員の方が季節料理を作ってくれる時もあり、楽しい誕生会になっている。 職員と一緒に食事の準備や片付けを一人ひとりができるよう、順番に声かけをして支援している。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量の記録をし、少ない場合は援助して体調の変化に対応している。			
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	うがい、歯磨きの声掛け、介助を行っている。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人のその時の様子や時間を見て誘導、又は介助を行っている。	排泄間隔をチェック表で確認し、自立できていない方には1時間間隔で言葉かけを工夫し、誘導し支援している。 水分の摂取量等も考慮している。 自立できている方の夜間時の排泄は、見守りをしている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量を多めに、又は冷たい牛乳を飲んでいただいている。			
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日が決まっている。	入浴日は決まっているが、利用者の希望する時間や意向に合わせた入浴が出来ている。 利用者の身体状態の変化時に応じて入浴が出来ない時は清拭している。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	談話の時間をもち穏やかな気持ちで休んでいただく。			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医、看護師との連携を取りながら服用していただく。			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	テーブルを拭いてもらったり、居室の掃き掃除をしていただいたり、天気の良い日は外の畑で野菜を収穫しおとなりにおすそ分けをした。			
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お花見、買い物、自宅に行き欲しいものを取りに行ったりしている。	利用者の希望に合わせて、家族の方、地域の方、ボランティアの方とお花見に出かけ交流を深め楽しい外出が出来ている。 自宅の近い方は家族の方に定期的に会いに出かけ、気分転換が出来よう、配慮し支援している。		



自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>おこづかいは事務所金庫にてお預かりしている。貯金通帳も預かってほしいと訴えあり個人のお小遣いと一緒にお預かりしている。預貯金残高を確認されたりしている。希望により職員と買い物にでかける。</p>			
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話をしたり、避難所役場からのお便りが届いたりしています。</p>			
52	(19)	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>花壇、玄関など季節の花を植えています。ホールには利用者さんスタッフでずくりのおおきなカレンダーをかかげ一人一人のお誕生日がしるされています。</p>	<p>利用者、スタッフの手作りの作品、行事の写真等が掲示され、明るく思い思いの場所でつるげる雰囲気があり、居心地よく過ごすことができる。畳が敷いてあり、共有空間が穏やかで和ませる居場所になっている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールや和室などでお話しされたり、個人の状況に合わせて隣に座ったりしています。</p>			
54	(20)	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の写真を飾ったりしています。</p>	<p>居室は、洋室と和室があり、利用者が居室に閉じこまらないよう、テレビは置かない方針で、家族の方も同意している。誕生会のプレゼント、家族の写真、手作り作品等を飾ったりして安心して過ごすことができるその人らしい居室となっている。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>棟内バリアフリーになっていて安全に歩行ができ、レスリも設置している。</p>			